

「2人で対戦遊び」

こんな遊びもありますよ！



2人で交代で石を取ります。

となりあっている石なら

3つまで取ることができます。

最後の1つを取ったら負けです。

このスライドでは、
「②0を取ったら負け」遊び
のように、**2人で対戦して
楽しむ遊び**をいくつか
紹介します！



はじめに...

このスライドを見てくれて、ありがとうございます。

緑色のシャツ、茶色のズボンのおじさんシリーズです。

ここでは、おうちの人や友だちとたいせんする遊びをいくつかしょうかいします。

算数に関係ある遊びとして、昔からあるものやそのルールを工夫したものなど、いろいろなホームページで見ることができます。

ルールが簡単なものからいくつか紹介します。

『**⑳**を取ったら負け（別のスライド）』のように、必ず勝てる作戦があるものや、私もその作戦を知らないものもあります。

「どうしたら勝てるか（必勝法）」を考えると、これはかなりいい学習になります！

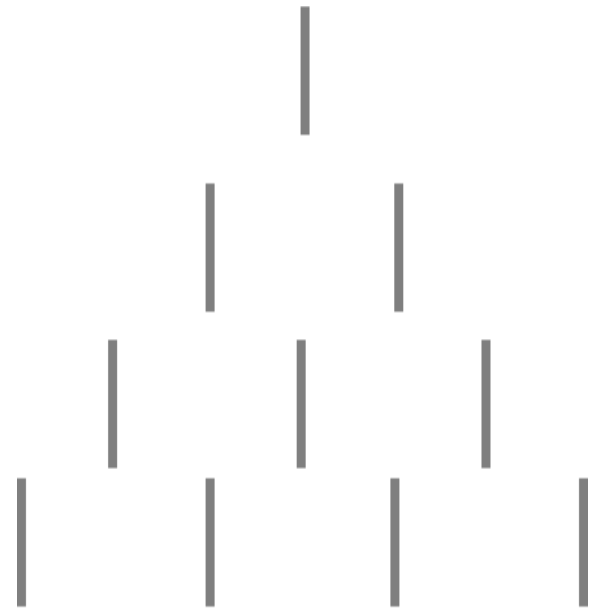


最初の遊びは、紙と鉛筆だけあれば（なくても黒板や地面でもいい）、いつでもどこでもできる遊びです。

この遊びは、私が中学生のときによくやった遊びで、どうすれば勝てるか、家で一生けんめい考えた思い出があります。ルールも簡単です。

ならんだ縦の棒を、交代で、一人が一回横棒を引きます（消すということ）。

違う段の棒は、消すことができません。同じ段なら好きなだけ消すことができます。そして、最後の1つの棒を消した人が負けです。

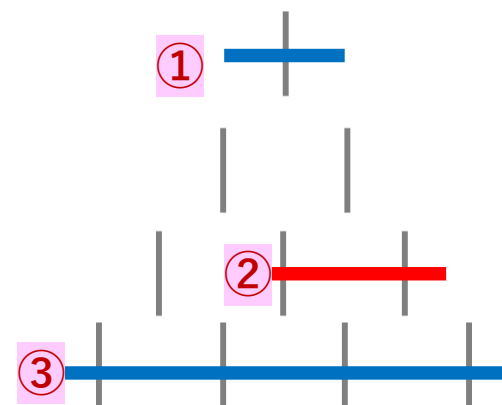
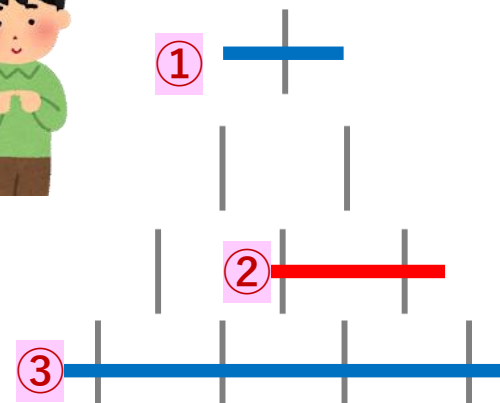


ちょっとやってみましょう。

先にする「私」が、青の線で消します。
あなたは、赤の線で消して下さい。では。
まず、

- ①私が一番上の段の1つを消します。
- ②次に、あなたは、上から3段目の右から2本を消したとします。
(どの列から消してもいいです。)
- ③次に私は、思い切って一番下の段を全部消しました。

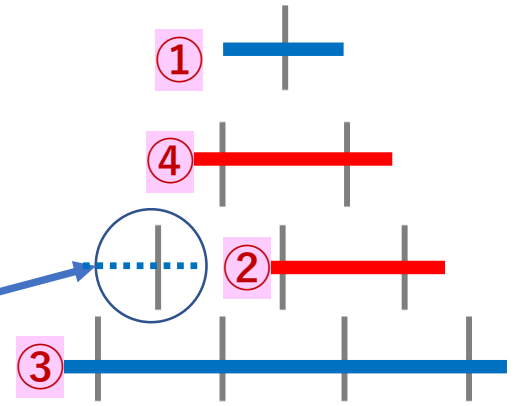
**※次のあなたは、どこを消しますか？
考えてみましょう。
どこを赤の線で消しますか？**



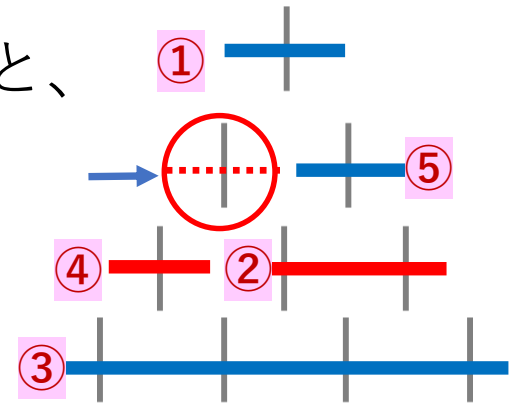
④ 「最後の1本を取ったら負け！」

だから、あなたが、上から2段目の2本を消せば、3段目に1本が残ってあなたの勝ちになります。

(最後の1本は、私が消すことになります。)



※もし、あなたが上から3段目の1本を消すと、右のように、なります。そうなったら、私は、2段目の1本だけをけします。こうなると、2段目に1本だけ残るので、あなたが負けになります。

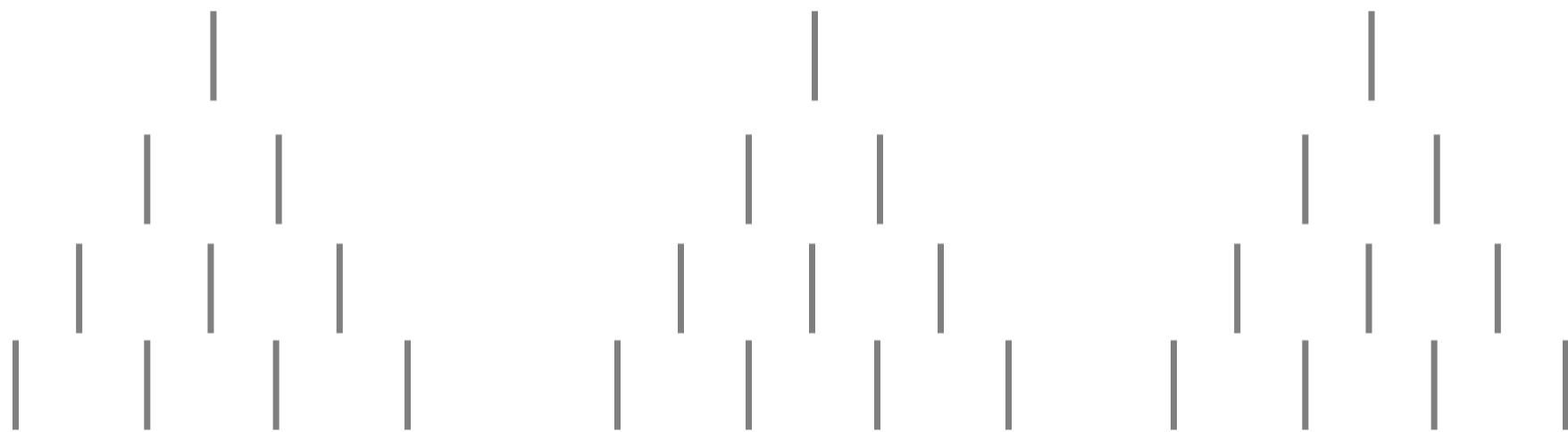
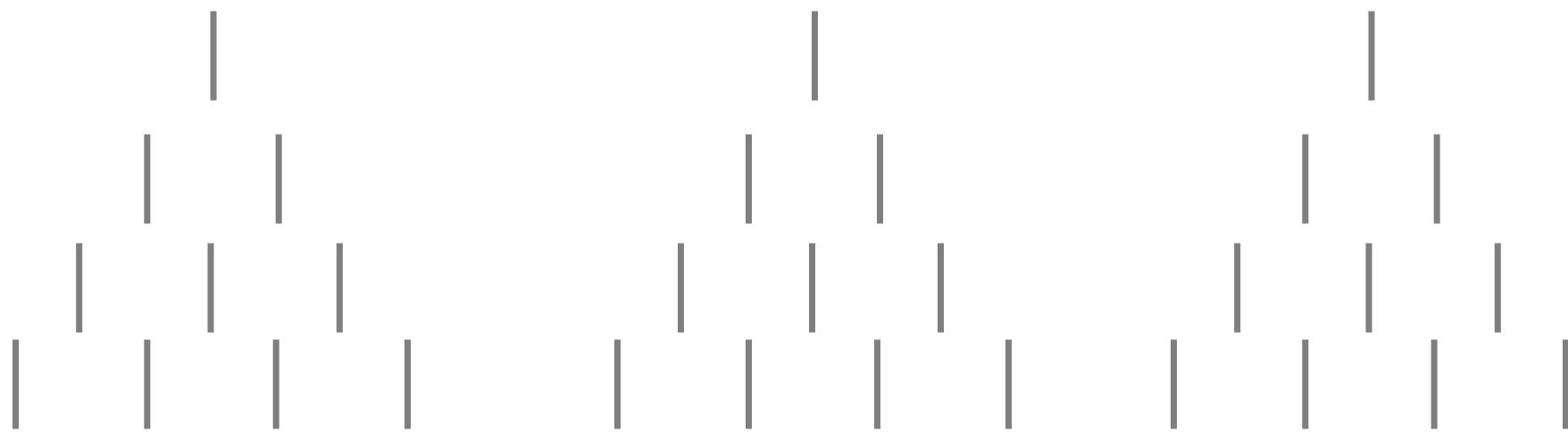


どうですか？ わかりましたか？

では、紙にてきとうにこの4段の棒の図をかいて
おうちの人とやってみましょう。



では、いちおうここに対戦のためのシートを用意します。



ちなみに、この遊びで必ず勝てる方法を私は、まだ見つけることができません。「⑳を取ったら負け！」の遊びのように、作戦を考えたら、**先にするか後にするかで勝負が決まる**かもでしれません…。

私が分かったのは、自分の番になったとき、右のように、違う段に2本ずつ残ったら負けてしまう！
ということです。

「どちらかの段の2本を消したら、相手は
残りの段の1本を消して、私の負け…」

「では、どちらかの段の1本だけ消したら、
相手は、残りの段の1本だけ消すからやっぱり私の負け…」

というように、残りが少なくなってきたら

「こうすればいい！」

は分かったのですが…

これを残せば自分が勝てる！とも言える

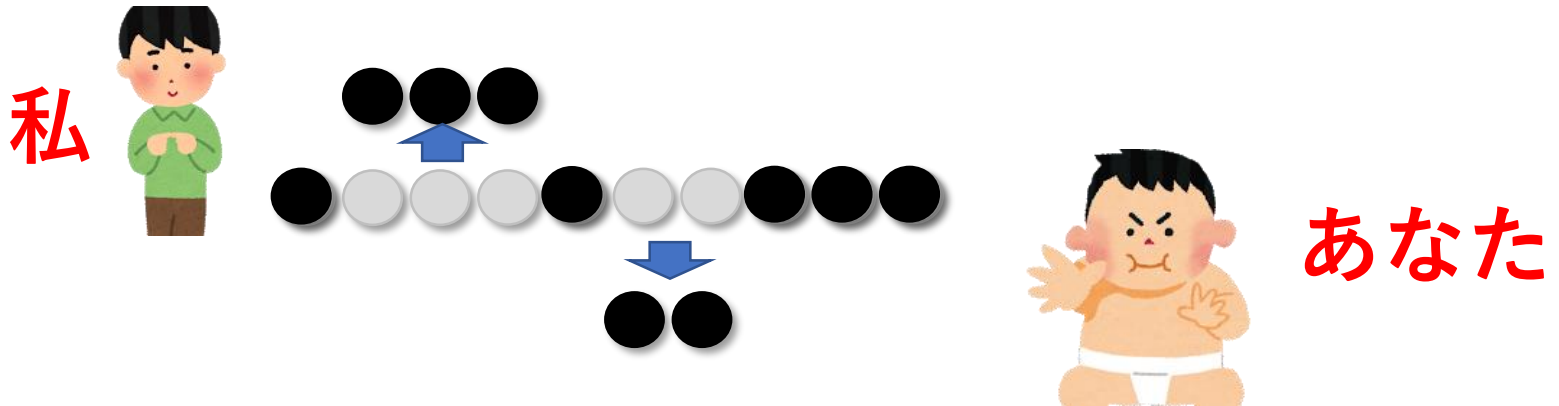
この続きはあなたが考えて下さい！



では、次の遊びです。「⑳を取ったら負け！」の遊びに似ています。表紙のページの問題です。



2人で交代で石を取ります。
となりあっている石なら3つまで取ることができます。
最後の1つを取ったら負けです。
実際に、何かをならべて、交代で取ってもいいし、
紙に○をかいて、ななめ線で消してもいいですね。



ちょっとやってみましょう。

さっきと同じように、先にする「私」が、青の線で消します。

あなたは、赤の線で消して下さい。では。

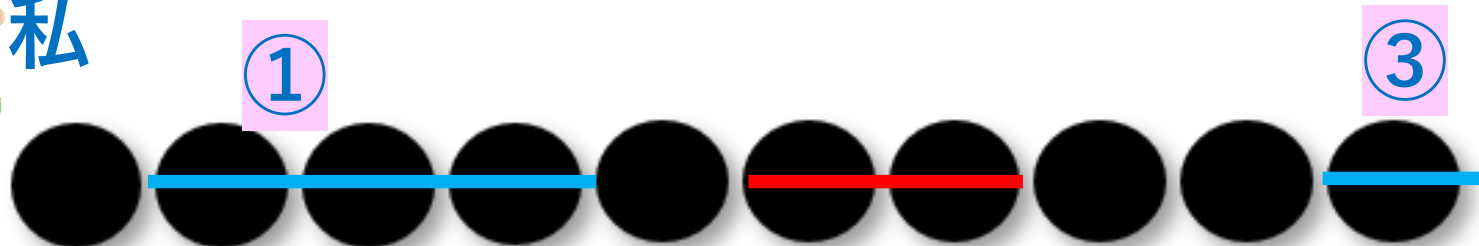
①まず、私が、右から2番目から3こ消します。

②次に、あなたは、そこから1ことばして、2こ消します。

③次に私は、右はしの1こをけしました。

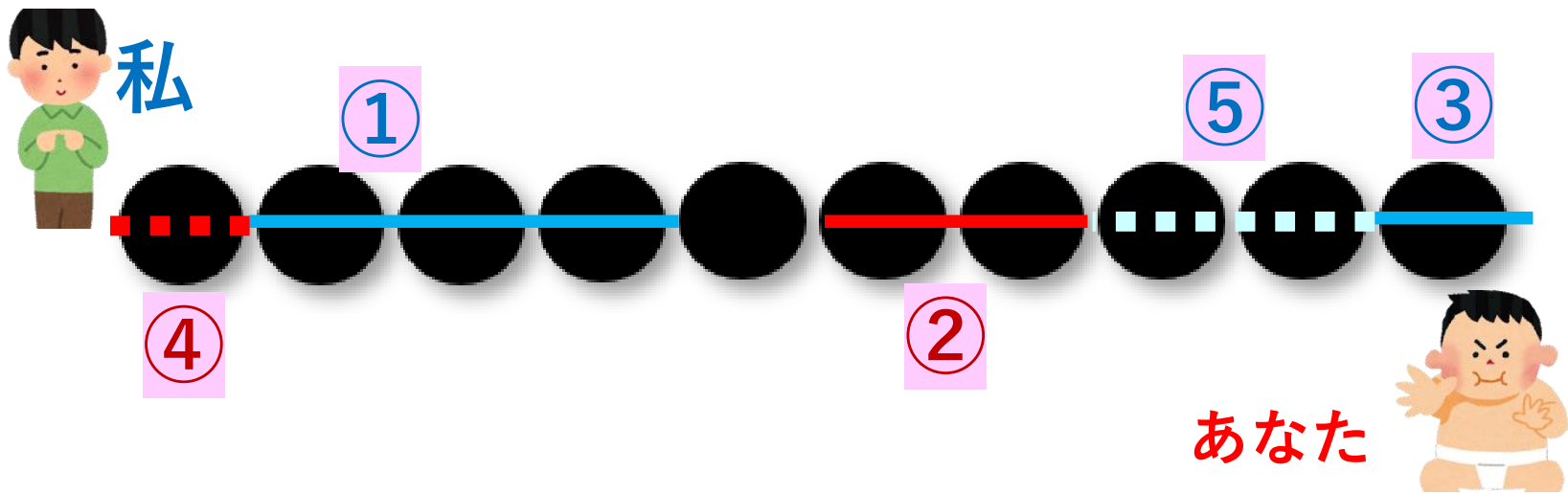
※次のあなたは、どこを消しますか？ 考えてみましょう。

どこを赤の線で消しますか？



あなた





④もし、左の1つだけ消したら、

⑤私は右の2つを消して、最後の1つはあなたになります。

あなたの負けです。

ということは、「私がここを取ったら、こうになってしまうので、別の方法でここにして...」

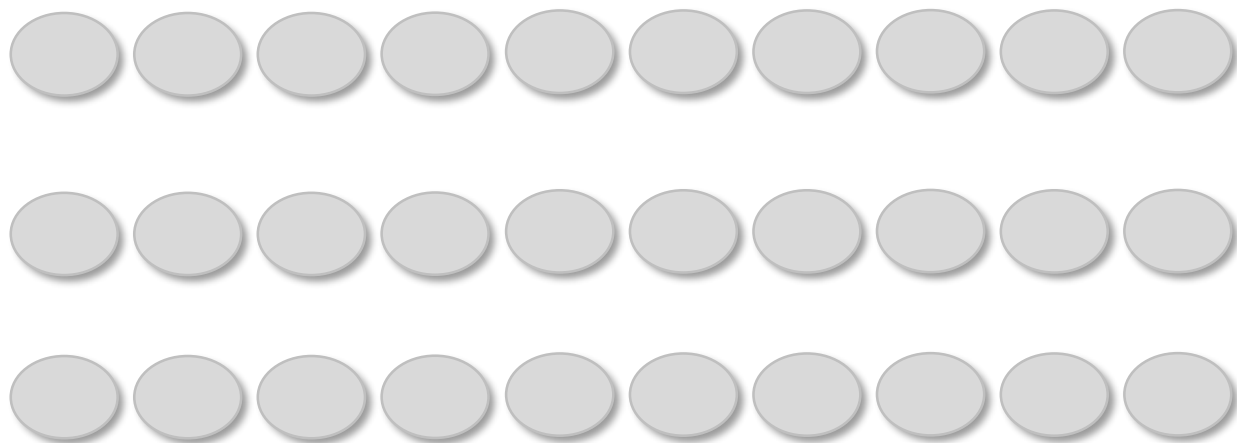
...とこういうように、先の先を考えて取ることが大切です。

こう考えながら、おうちの人と対戦してみましよう。

では、いちおうここに対戦のためのシートを用意します。



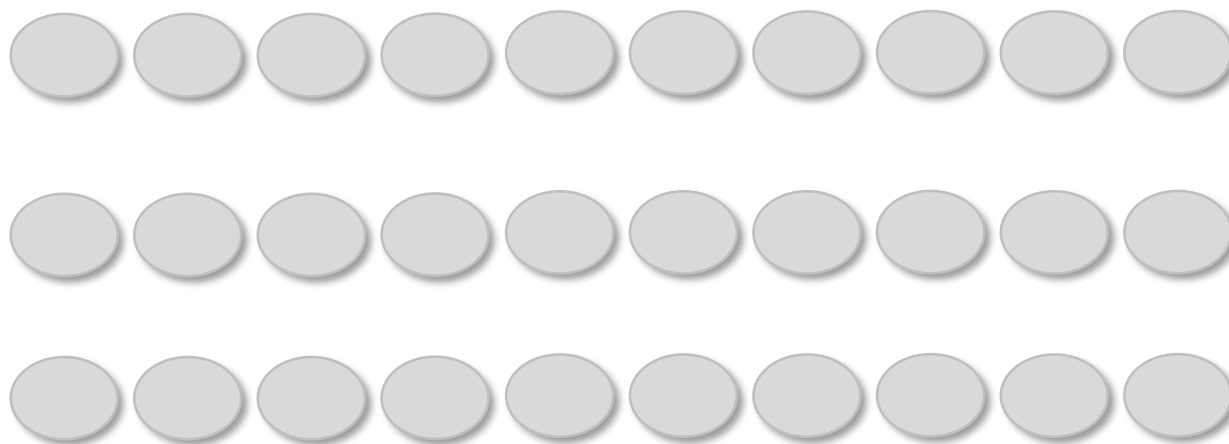
では、最後の遊びです。「三山（さんやま）くずし」という昔からある遊びです。ルールは似ています。これも、おはじきやコイン、碁石（ごいし）などを使ってもいいし、○をかいて消してもいいです。マッチやつまようじなどの棒でもできます。ここでは、○をかいた図で説明します。下のように、○の3つのまとまりを作ります。まとまりであれば、ならべても、山にしてもいいです。



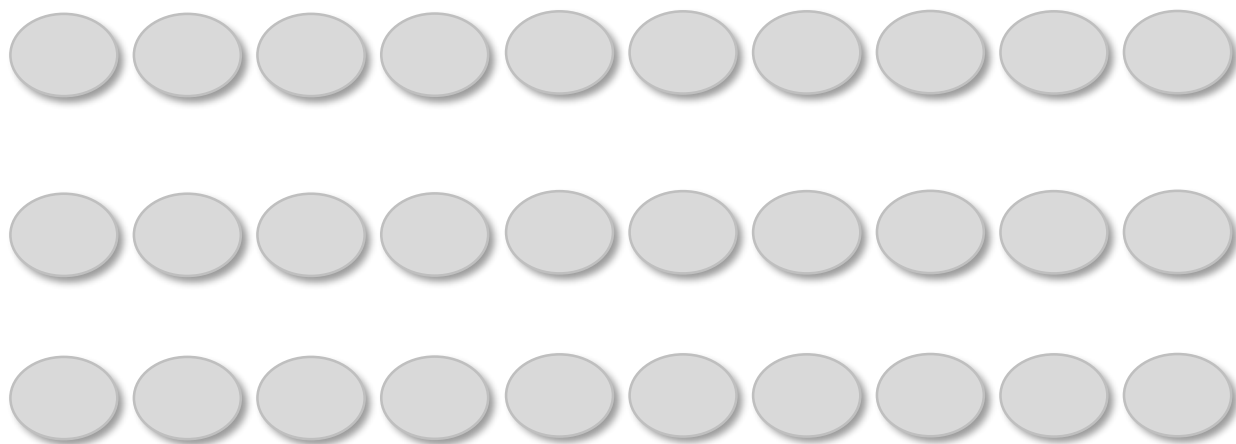
ルールは、「交代で、1つのまとまり（山）から好きな数だけ○を取って、最後の1つの○を取った方が負け！」というものです。

※昔の遊びでは、「最後の1つの○を取ったら勝ち」が多かったようですが、ここではこれまでの遊びにルールを合わせます。

一度に取る数は、自由ですが、違う列（山）から取ることはできません。



この遊びにも、ある程度○を取ったところで
「こうすれば勝てる！」という必勝方があります。
まずは、遊びながらどうしたら勝てそうか、考えて
みて下さい！ この説明はここまでにします。



と、いうことで、作戦を理解すれば必ず勝てる遊び
もあれば、途中で勝負が決まるものもあります。

この遊びも

『⑳を取ったら負け！』 『図形のじん取りゲーム』
の遊びと同じように、**算数に関する力**や、
全ての教科でも大切になる**筋道を立てて考える**力を
付けることにつながります。

ぜひ、自由研究として、自分なりの
「必勝法」をまとめてみて下さい。



おわりに...

最後まで見てくれて、ありがとう！

おうちの人との勝負は楽しかったですか？

みなさんが、このスライドを見るころは、もう、
学校が始まっているかもしれません。

学校で、ぜひ、友達と対戦して下さい！

(あまりくっつきすぎないように注意して)

友達や先生と楽しい毎日を過ごして下さい！

では、またお会いしましょう。さようなら！

